

# マッチで 森の防潮堤を つくろう!

第5回  
東日本復興支援  
チャリティ

義援金と引換にお渡しするマッチで森の防潮堤オブジェをつくりましょう!

2015年 11月13日(金) 13:00~20:30

14日(土) 10:00~19:30

開催場所 感謝と友情ゾーン(神戸国際展示場1号館)

集まった義援金は、公益財団法人「瓦礫を活かす森の長城プロジェクト」と「神戸マラソンフレンドシップバンク」に寄付いたします

瓦礫を活かす  
森の長城  
プロジェクト



神戸マラソン実行委員会連携事業  
主催：一般社団法人日本燐寸工業会



# 神戸マラソン恒例のチャリティイベント 今年も開催!

一般社団法人日本燐寸工業会が、神戸マラソン実行委員会と連携して行う「東日本復興支援チャリティ」も今年で5回目となります。毎回、大変ご好評をいただき、多くのおみなさまにご参加いただいております。

阪神淡路大震災から復興をとげた兵庫県だからこそ、鎮魂・復興・再生への思いを込めて、支援とエールを息長く送り続けたいと思います。

集められた義援金は、公益財団法人「瓦礫を活かす森の長城プロジェクト」と「神戸マラソンフレンドシップバンク」へ寄贈いたします。義援金にご協力いただいた方に緑のマッチをお配りいたしますので、会場に設置した東日本地図オブジェにご自身の手でマッチを挿していただき、緑の東日本、緑の防潮堤を完成させてください。



## 「瓦礫を活かす森の長城プロジェクト」とは

公益財団法人「瓦礫を活かす森の長城プロジェクト」は、被災地沿岸部に津波からいのちを守る森の防潮堤を築くための活動を行っています。震災瓦礫を埋めて、盛土を築き、その上にシイ・タブ・カシといった土地本来の樹種を植樹し森にしていきます。

このプロジェクトの理事長には細川護熙元首相、副理事長に宮脇昭・横浜国立大名誉教授が就かれ、多くの著名人がプロジェクトメンバーとして参加されています。

これまでの植樹本数: 138,600本

ドングリ採種数: 200,000粒

ボランティア参加者数: 延べ16,515名 (平成27年1月現在)

瓦礫を活かす森の長城プロジェクト公式サイト

<http://greatforestwall.com>

### いのちを守る森の仕組みとは

#### 押し波では

多層構造の森が緑の壁となって、津波のエネルギーを減殺し避難する時間を稼ぐことができる。

#### 引き波では

深根性直根性の根に支えられ倒れない木々が、漂流する人々や家や車を受け止め、沖に流されるのを食い止める。



理事長

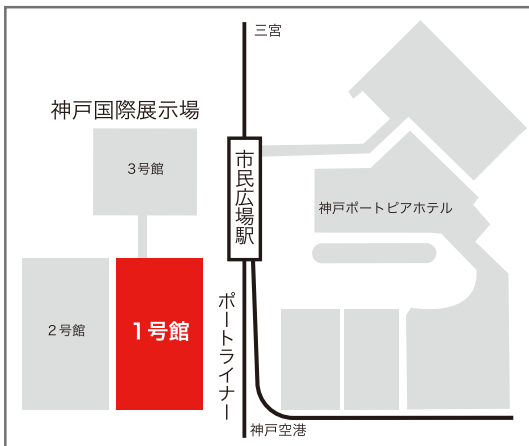
細川 護熙 ほそかわ もりひろ

元首相。(公財)永青文庫理事長  
熊本県知事、衆参両議員を歴任後、1993年  
第79代内閣総理大臣に就任。

副理事長

宮脇 昭 みやわき あきら

横浜国立大学名誉教授  
ふるさとの木によるふるさと森づくりを提唱。  
国内外1700箇所以上で4000万本を超える植樹  
を指導。瓦礫を利用した森の防潮堤づくりの提案  
者。



開催場所: 感謝と友情ゾーン(神戸国際展示場1号館)

主催: 一般社団法人日本燐寸工業会

兵庫県神戸市中央区北長狭通5-5-12

TEL 078-341-4841 FAX 078-341-4371

<http://www.match.or.jp>

協力: 大和産業株式会社、協同組合日本マッチラテラル

後援: 兵庫県、神戸市、神戸商工会議所、

兵庫県中小企業団体中央会

企画: 株式会社ジャックビーンズ

イラスト: 福留鉄夫

地図オブジェ: 丸一興業株式会社



イベントに使用するマッチ棒は発火しないよう安全に加工してあります。「マッチ」はすべてが土に還る環境に優しいエコ商品です。

地図オブジェは100%リサイクル可能な硬質紙素材を使用。展示台は牛乳パック等の再生紙100%ダンボール「硬質ミルダン」を使用いたします。